

明るい未来へ。

南薩の皆さまとともに、 とことん地方創生!



衆議院議員
やすおか宏武

保岡宏武衆議院議員は、南薩地域を含む自由民主党鹿児島県第二選挙区支部長として、南薩地域の皆さまとともに地方創生に取り組んでまいります。保岡宏武衆議院議員の南薩地方の政策と、国会での取り組みを特集します。

保岡宏武衆議院議員は、自民党所属の国会議員としての任期中、地元鹿児島県の声を国政に届けるために3年間欠かさず週末は地元に戻りながら、東奔西走の毎日を送りました。

衆議院では任期中、総務委員会、農林水産委員会、消費者問題に関する特別委員会、地方創生に関する特別委員会に所属し活動しました。

総務委員会では再犯防止・更生保護活動についてや、ウクライナ避難民の受け入れなどを問い、保護司のあり方についても東京都における先進的な例を全国に広げられないか提案しました。農林水産委員会では、農業高校の教育環境の充実や魅力発信、農林水産業の稼ぐ力の強化について、地元鹿児島での例を引き合いに質問を行いました。消費者問題に関する特別委員会では、消費者保護の観点から景品表示法全般の対応力を高めると同時に、若年者のインターネットにおけ

るリテラシーの強化などを訴え、政府の理解を得ることができ、消費者を保護する法改正が行われました。地方創生特別委員会では農水産品や加工品の知的資産の保護・活用への対応について、知的資産の保護・活用は、農水産品、加工品輸出においても非常に大事なポイントと指摘して政府に地理的表示産品の普及拡大を約束させたほか、公共の施設とサービ

スに民間の創意工夫を最大限活用するPPP、PFIのさらなる導入を推し進める方向性を大臣と確認しました。

このほか、党では組織運動本部の教育・文化・スポーツ・関係団体委員会委員長と商工・中小企業・関係団体委員会副委員長に任命され、関係諸団体との情報交換に永田町で積極的に行っているほか、司法制度調査会事務局次長として父・保岡興治が長年取り組んでいた司法制度改革にあたっています。また、奄美振興特別委員会幹事として、奄振特措法の改

南薩地域で取り組む政策

- 地域の農林水産業の所得倍増を政策のど真ん中へ
- 2024年問題に対応した農林水産物の販路拡大支援
- 観光拠点づくりによる観光客の南薩地方周遊モデル策定
- 河川整備等の強化による災害に強い防災施策の抜本的強化
- 若年者の地元就職促進とU・Iターンの更なる推進
- 伝統的工芸品の継承など小規模事業者の事業継続支援
- 妊娠出産から子育てまで切れ目のない行政サポートを実現

保岡宏武が取り組む南薩地域の政策(抜粋)

最前線 保岡宏武が取り組む 南薩の政策

正にも携わり、奄美の現状と課題を党・政府に届け続けています。今後も石破茂新総裁・森山裕自民党幹事長のもと、とことん地方創生に取り組む、南薩地域の発展に与党の一員として尽力します。

農山漁村の活性化による稼ぐ力のあるまちづくりの実現が大きな課題です。国産肥飼料増強、食品ロス対策、有機栽培や輸出向け産品の拡充、農泊など、民間だけでなく国県市が連携し環境を支援することが重要です。地域の農林水産業の所得倍増を政治のテーマの一丁目一番地に掲げて取り組みます。また、2024年問題に対応した農林水産物の販路拡大も急務です。物流の2024年問題で東京や大阪といった大規模消費地への輸送が難しくなるなか、地産地消を推進することが農林水産業の成功の一つであり、給食における地産地消の取り組み推進なども訴えています。

観光拠点づくりによる観光客の南薩地域周遊モデルをつくることで、クルーズ船客が地方にお金を落とすスキームができ、南薩地域全体が潤いを持つことになり、観光資源を最大限に生かす観光導線の策定と、それに対応するQR決済手段の導入支援や通訳士の育成などは、国県市が連携して取り組むべき課題です。

河川整備等の強化による災害に強い防災施策の抜本的強化にも取り組んでいます。災害の激甚化に対応した防災対策が練られているのか、再度検証する必要があるが、防災減災にこれまで長年ライフワークで取り組んできた石破新総裁のもと、これらの課題にゼロベースでの見直しを

行うことで、一人の命も失わない防災を実現させます。既存集落の過疎化対応と定住施策の推進をすすめていく必要があります。住み続けられるまちづくりに必要なライフラインの維持は、全国的な過疎化対策を真似するだけではなく、鹿児島独自の課題にも取り組む必要があります。これに代わって若年者の地元就職促進のため、定住政策を進めるとともに、地元に着着はあられる収入などの面で大都市圏に転出してしまった南薩出身者のU・Iターン推進も行います。南薩地域では、魅力ある伝統的工芸品が多く存在します。これらの技術継承と小規模事業者の事業継続支援は、商工事業者との連携のもと、しっかりと行いたいと考えています。妊娠出産から子育てまでの包括的な支援体制の構築は、少子化対策に必要不可欠です。教育費無償化などの流れがあるなかで、保育料や給食費などへの補助に加え、切れ目のない行政相談支援などの構築を訴えています。



指宿市「山川みなと祭り」に参加

石破新総裁誕生

9月27日、自民党総裁選挙が党本部で行われ石破茂元幹事長が新総裁に選ばれました。地方創生を掲げる石破茂候補は鹿児島県でも人気が高く都市型の政治から地方に目を向けた政治へ転換が期待されます。保岡宏武衆議院議員は石破茂総裁候補の推薦人の一人として石破総裁の誕生に大きく貢献しました。



石破茂新総裁は今年で67歳。衆議院鳥取1区選出の当選12回で、これまで防衛庁長官、防衛大臣、農林水産大臣、地方創生担当大臣を務めたほか、党幹事長も務めるなど豊富な経歴で多くの支持を得てきました。

9月7日には鹿児島市内で講演し、毎年1回以上は鹿児島県に訪れていることや県が抱える現状に触れながら、地方創生への決意を述べました。また、政治とカネの問題についても「政治家の言うことは信用できない」という国民の声を払拭するのが政治改革だ」と持論を述べました。

保岡宏武衆議院議員は石破総裁候補の推薦人20名に加わり、総裁選全般で石破候補を支援し、全国遊説にも総裁選対策メンバーとして関わりました。

保岡議員は石破新総裁の誕生に際し「鹿児島2区は鹿児島・南薩・奄美と、まさに地方創生が必要な地域であり、地方創生を掲げ続けている石破さんを総裁候補として応援してきた。国会議員として初めての総裁選で、石破新総裁への多くの期待の声を感じた。石破新総裁と密接に連携できる関係ができたので、これからより一層、鹿児島の地方創生を強力に訴えていきたい」とコメントしました。

活動報告

保岡宏武衆議院議員は、東京と鹿児島を毎週往復して精力的に活動しています。保岡議員の東京での活動の一部を写真でお伝えします。



衆議院農林水産委員会での質問



渋谷・鹿児島おはら祭りに参加



与論町から国会見学に来た児童達と交流



党勢拡大に貢献(党員獲得28位)し、党本部で表彰



森山裕自民党幹事長と共に戦います

「みんなの笑顔、明るい未来へ。やり抜きます。やすおか宏武です。」

衆議院議員やすおか宏武事務所

鹿児島事務所
〒891-0113
鹿児島市東谷山3-32-26
TEL 099-296-8948
FAX 099-296-8943

国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館815号室
TEL 03-3508-7633
FAX 03-3508-3263

衆議院議員保岡宏武プロフィール 1973年5月6日生まれ、家族は妻と男の子4人。奄美小、池田中、錦江湾高、青山学院大法学部卒業、鹿児島大大学院修了(焼酎学修士)。2021年衆議院総選挙初当選、現在自民党鹿児島2区支部長。奄美振興特別委員会幹事。



明るい未来へ。